

鈴木 満枝

Mitsue Suzuki

生涯教育総合課程 子ども文化専攻
平成19年3月 卒業



ここで見つけた夢の原点

私がボランティアに通っていたのは、アトリエ自遊楽校というところでした。そこは、子どもたちが、さまざまなものや人に出会い、遊び、表現するところです。なぜボランティアに通うようになったかという、「人間と遊び」という授業を受け、新田新一郎先生に出会ったから。当時漠然と子どもと関わる仕事がしたいと思っていた私に「子どもにとって本当に必要なことは何か」ということを考えさせられた授業で、自分の中にある何かを根底から揺さぶられた衝撃を今でも覚えています。アトリエは、彼の理念を直接子どもたちに伝えている場所だったので、もっと知りたいて、生で見たいと思い通い始めました。

もちろん、楽しいことばかりではありませんでした。アトリエのクラスの中では、スタッ

フや子どもたちの動きを見ながら自分がどう動き、何をすべきか常に考えなければ

ならない、子どもに接するという意味でも自分の課題がいやでも突き付けられました。しかし、だからこそ訪れる子どもからもらえる本当にうれしい瞬間、感動する瞬間がたくさんあったのです。

いま、私が児童館という場所で働いているのは、自分が子どもたちに向けて、本当にやりたいことは何なのかをボランティアをやる中で見つけたからです。ここでの経験や感じたことが今の仕事に対する思いの原点となっています。

私が皆さんに伝えたいことは、学生時代のたくさんの出会いの中で、ちょっとでも自分の中にビビッとひっかかるものがあつたらまず動け!ということです。自分の体や心、頭を本当に動かすことができた人だけが得られる素敵な宝物が必ず待っているはずですよ。

